

【Fw:東北Fan Meeting】移住を考えるためのふるさとワークショップ試行結果（概要・プログラム）

日時等	令和5年5月29日（月） 19:00 - 20:30（18:50開場）オンライン（Zoomミーティングを使用）	
テーマ	移住コーディネーターのためのふるさとワークショップ	
参加者	① FTFM「東北暮らし発見塾」（令和3・4年度）開催地の移住コーディネーター・自治体担当者 ② 上記①以外の岩手・宮城の移住コーディネーター・自治体担当者 ③ FTFM「移住支援者のための関係人口ワークショップ」（令和4年度）参加者（岩手・宮城・福島） ④ 「The Next Generation Summit in J-VILLAGE」（令和4年度）参加者	
	計14名	
タイムライン	内容	
19:00 (10分)	概要説明	ファシリテーターから開催主旨とワーク内容について説明。
19:10 (10分)	セッション①	「ふるさと」のイメージを拡げよう ・ プレスト形式で参加者それぞれが「ふるさと」から連想できる単語・フレーズをチャットに書き込み（別紙1）。 ・ 書き込まれた言葉をファシリテーターが適宜紹介。
19:20 (45分)	セッション②	「ふるさと」の意味を深めよう ・ セッション①で出た言葉を手掛かりに、TFDを通じて、「ふるさと」という言葉の意味を深める。 ・ 対話は1回9分間で4回実施。対話により意見が同質化しないよう、一巡はしない。 ・ Zoomのメインルームのほか、6つのブレイクルームを設けて、運営側であらかじめ決めた参加者のペアを各部屋に割り当てて、時間がきたら次のペアに変わるよう操作。
20:05 (10分)	セッション③	「ふるさと」で作文をしてみよう ・ セッション②での内容をもとに、参加者それぞれが考えた「ふるさと」の意味、移住や関わりたいまちにある「ふるさと」のイメージを運営側が示した定型文の穴埋めを行う（別紙2）。
20:15 (5分)	セッション④	発表とコメント ・ ファシリテーターから指名のあった者が作文を紹介し、ファシリテーターからコメント。

【Fw:東北Fan Meeting】移住を考えるためのふるさとワークショップ試行結果 別紙①

○ 参加者が挙げた「ふるさと」と聞いてそこから連想できる言葉（計176項目）を便宜的に整理

人	もの	こと	風景	感情	気質	その他
おじいちゃんおばあちゃん	いなご	お祭り	緑	ありのまま	あたたかい	はだし
おじいちゃんのおい	うさぎ	お墓参り	あぜみち	おちつく	うわさ	ターニングポイント
ばあちゃん	お布団	げんこつで先生に怒られる	いつでも思い出せる景色	すき	おすそわけ	ヒマ
ガキ大将	かえる	まつり	コンビニの広い駐車場	なつかしさ	おすそ分け	夏
意外にすごい人いる	かかし	やたら走らされた	ダム	におい	おせっかい	夏休み
家族	からす	駅伝	ツリーハウス	ほっこり	だらけきつた場所	故郷
会いたい人がいる	かんてん	歌	マックがない	安心	つながり	車が必要
学校の先生	せみ	花火	稲穂	安心できる	のんびり	出身
旧友	つけもの	学校	駅まで遠い	懐かしい	やさしい	出身地
笑顔	とんぼ	帰省	縁側	感情をありのまま出せる場所	ゆったり時間	生まれたところ
親戚	ジャージ	祭	海	帰ってきたと思える	アナログ	田舎
祖父母	チェーンソー	山菜取り	街並み	帰りたい	マニアックな感じ	背景
知り合い	家庭料理	自転車の手離し運転	学校遠い	帰りたいと思う	近所づきあい	秘密
仲間	軽トラ	蒔	季節を感じる	帰る場所	近所の繋がり	方言
友達	犬	小学校	空き家	気を張らない	近所の人に必ず挨拶	子供の時と大人になってから
幼馴染	実家の煮物	正月	空気がきれい	記憶	近所付き合い	だと感じ方が違う場所
	新幹線	青春	原風景	休まる場所	古き良き	
	草刈り機	雪かき	山川里	居場所	人とのつながり	
	虫	草刈り	自然	原点	人伝て = 最速	
	長靴	葬式	自然豊か	最高	昔ながら	
	日本昔話	虫取り	実家	思い出	暖かい	
	蛭	通学路がたのしい	商店街	思い出がある	地域に見守られている感じ	
	風鈴	登下校	雪	思い入れ	地域のあたたかさ	
	和食	怒られたり	川	思い入れがある	廃れた感じ	
	藁	同級会	川がきれい	実家の匂い		
		童謡	庭が広い	心のよりどころ		
		焚火	田んぼ	心癒される場所		
		放課後	田園	素		
		林間学校	田園風景	素でいられる		
			里海里山	美化される場所		
			里海里山	忘れられない場所		
			路面電車	癒される		
				落ち着く		
				落ち着く場所		
				力が抜ける場所		

【Fw:東北Fan Meeting】移住を考えるためのふるさとワークショップ試行結果 別紙②

- 参加者による「私にとってふるさととは○○です。私が暮らす町でふるさとを感じられるポイントは○○です」の穴埋め一覧。

	私にとってふるさととは○○です。	私が暮らす町でふるさとを感じられるポイントは○○です。
A	原体験が生まれた場所	海と山を一緒に眺められる堤防の先端
A	誰かに見守られているを感じる場所	どこにいても知り合いに出会って、知らなくてもすぐ仲良くお酒を酌み交わせるところ
B	良い記憶と悪い記憶	NANAMARUNI COFFEE
C	ありのままの自分で居られる「人」と「場所」があるところ	個性的な人たちとゆるく繋がりが合うことができること
D	「思い」が詰まった場所	地域の人との思い出があり、自分の中で簡単に切り離せない思い入れがあるところ
E	帰ってきたと思えるところ	頼れる人、助けてくれる人がいるから
F	自分をリカバリーしてくれる場所	広い海と空
G	帰りたと思える思い入れのある場所	暖かく受け入れてくれるクセになる地元の人たち
H	気持ちが安らぐ場所	ご近所さんからおすそ分けとたわいもないお話でほっこりできるところ
I	人と人のかかわり	人の顔が見える距離感
I	五感を育ててくれた場所	喜びを共感できる場所
J	息抜きできる場所	あたたかさ、居場所がある、つながり
K	人とのつながり	日常生活（特に畑仕事、草刈り）で地域の方々が一緒に活動すること
L	今は離れていても気になる場所	慣れてくると人懐っこくなる地元の方々 本当は来た人自身に見つけていただきたい
L	そこはかとないなつかしさ	いつの時代からあるのかわからないような古い家並みと田園風景
M	記憶に残る情景です	地域の人たちが集まる場所
N	誰かがいると感じられる場所	登下校を見守ってくれている地域の人が挨拶してくれる時

< 頒布用スライド >

移住を考えるための ふるさとワークショップ

Fw:東北FanMeeting 東北暮らし発見塾

「ふるさと」をキーワードにして 移住したい町を考えるトーク形式のワークショップ

移住を検討しているみなさんが「ふるさと」という言葉に込めている内容について、会話を交えながら考え、言葉の再定義を試みることで、関係人口拡大や移住先を探すために必要な視点を養うワークショップです。

「ふるさと」というキーワードで自分たちが暮らしの上で大切にしたいポイントがわかる



私が暮らす町でふるさとを感じられるポイントは……

共通のテーマで語り合いながら、移住を検討する人たち同士や、移住コーディネーターとの交流機会を作れる

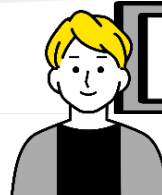
私が「ふるさと」で感じるのは……



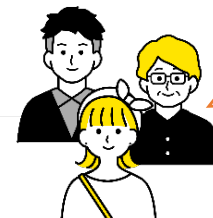
こんなところがふるさとっばい！



自分が描くふるさとのイメージに見合った移住先を探すための基準が見つかる



〇〇町 主催
移住促進イベント



〇〇町のここにふるさとを感じた！

セッション①「ふるさと」のイメージを広げよう

セッション①「ふるさと」のイメージを広げよう

「ふるさと」から連想できる言葉を書き出し

できるだけたくさん、幅広く出してみる
思い浮かんだ言葉を直感でどんどん出す
だれかと被ってもOK！ / そこからさらに連想してもOK！

5分間でみんなでどこまで出せるかチャレンジ！

- * 対面の場合は、付箋に書き出してみよう
- * オンラインの場合は、チャットに書き出してみよう

セッション②「ふるさと」の意味を深めよう

セッション②「ふるさと」の意味を深めよう

トークフォークダンスで2人1組のトーク
1ターンで8分間、相手を変えながら
「ふるさと」で浮かんだ言葉について自由におしゃべり

相手を変えながら4ターン行います

- a. 「もっと具体的に言うと？」
- b. 「なぜそれを『ふるさと』だと感じた？」

FORWARD TOHOKU

トークフォークダンスとは？



参加者が二重の輪になって、外側と内側の人が2人1組で語り合う形式。
時間に合わせて1人ずつずれながら相手を変えて、語り合いを続けていきます。

セッション③「ふるさと」で作文をしてみよう

セッション③「ふるさと」で作文をしてみよう

ふるさと作文を作ってみる

自分が解釈した「ふるさと」の意味と、移住や関わりを持ちたい町にある「ふるさと」のイメージを作文にする

私にとってふるさととは、

【①●●●●●●●●●●】です。

私が移住先でふるさとを感じたいポイントは

【②●●●●●●●●●●】です。

①と②を書き出して共有